

令和7年度から令和10年度
中学校において使用する教科用図書の
採択結果について

令和6年8月30日

出雲採択地区教科用図書採択協議会

出雲採択地区教科用図書採択協議会では、令和７年度から令和１０年度に使用する中学校教科用図書について、３回の採択協議会を開催し、研究調査員による研究調査資料を参考に、採択の観点にしたがって、各発行者の検定合格図書を総合的に比較・検討しました。

採択結果等は、下記のとおりです。

記

I 令和７年度～令和１０年度使用 中学校教科用図書の採択結果

種 目	発 行 者 名
国 語	東京書籍 株式会社
書 写	東京書籍 株式会社
社会（地理的分野）	株式会社 帝国書院
社会（歴史的分野）	東京書籍 株式会社
社会（公民的分野）	株式会社 帝国書院
地 図	株式会社 帝国書院
数 学	東京書籍 株式会社
理 科	株式会社 新興出版社啓林館
音 楽	株式会社 教育芸術社
美 術	日本文教出版 株式会社
保 健 体 育	株式会社 G a k k e n
技術家庭（技術分野）	東京書籍 株式会社
技術家庭（家庭分野）	東京書籍 株式会社
英 語	東京書籍 株式会社
特別の教科 道徳	日本文教出版 株式会社

Ⅱ 採択の観点

【各教科（特別の教科 道徳を除く）】

- 1 記述された内容、程度が、生徒の発達の段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。
- 2 取り上げられた教材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。
- 3 生徒が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。
- 4 各教科の特性が生かされ、地域の実態や課題に適合しているか。
- 5 各教科等における資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。
- 6 その他 上記1～5の観点では表現できない特筆すべき事項

【特別の教科 道徳】

- 1 記述された内容、程度が、生徒の発達の段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。
- 2 取り上げられた教材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。
- 3 生徒が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。
- 4 道徳科の特性が生かされ、地域の実態や課題に適合しているか。
- 5 各教科等における道徳教育との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。
- 6 その他 ・上記1～5の観点では表現できない特筆すべき事項

Ⅲ 採択する教科用図書の特長

1 国語（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①各教材を通して身に付けたい言語能力のポイントが「言葉の力」として明示されており、さらに「てびき」を使って生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。
- ②「本編」には、思考力等を養うのに適した多彩な教材が精選されている。「資料編」では、学習を深めたり広げたりする資料が充実している。

(2) 題材の選択や構成等

- ①防災、環境など、今日的課題を考える教材を収録し、社会の課題について論理的・多面的に考えられるよう工夫されている。
- ②話し合いについての学習では、グループディスカッションなど、多様な話し合いの例を示し、協働的な学びの中での合意形成の仕方が分かりやすく示されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①デジタルコンテンツが豊富に用意され、学習の導入に活用できる動画や文法ゲームなど、生徒の興味・関心を引き出す工夫がなされている。
- ②『私たちの未来』（朝井リョウ）や『足跡』（瀧羽麻子）など、思春期の感性に響く小説文を取り上げ、中学生が関心をもって教材に向かえるよう工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「デジタルコンテンツ一覧」には、家庭学習にも活用できるコンテンツにマークが示されており、生徒が主体的に予習や復習に取り組めるよう工夫されている。
- ②本のPOP作りやビブリオバトルなど多彩な読書活動や読書案内が示され、豊かな読書生活を支える工夫がなされている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①学年末に総まとめの教材として「未来への扉」を設け、学習内容を実生活と関連付けながら資料を読んだり、考えを深めたりして、現代を生きるうえで必要な力を伸す工夫がされている。
- ②他教科と関連する内容や漢字に、関連マークを示し、国語の学習内容を他教科に生かせるよう工夫されている。

(6) その他

- ①内容が精選され、参考資料はデジタルコンテンツとして見られるようにしたことにより、ページ数が削減され、見やすく、持ち運びもしやすくなっている。
- ②各単元の扉に四季を感じられる詩歌や写真が掲載され、感性を磨くことができるように工夫されている。

(7) 総括

- ①デジタルコンテンツが充実し、個人の興味に応じて主体的に学ぶことができるよう工夫されている。
- ②各単元に学習の見通しやつけたい力が示され、学年末には「未来への扉」を設定し獲得してきた力を確かめることができる単元配列で「言葉の力」を確実に身につけることができ、特に優れている。

2 書写（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①各学年の扉に「身に付ける」「使い分ける」「使いこなす」というキーワードが載せられており学習の系統性が分かりやすくなるよう工夫されている。
- ②基本単元と活用単元「生活に広げよう」で構成され、巻末には「書写活用ブック」として、実用的な知識や他教科で使える書式が網羅されている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①1年生の冒頭に「これまで学んできたこと」があり、動画の解説が丁寧で学びなおしができる。また、「文字といっしょに」では、高等学校の学習について触れられており、小中高の学びの接続が図られている。
- ②学習のポイントに応じた手本が用意され、硬筆で課題を見つけ毛筆で学習した後、硬筆文字で定着を図れるような工夫がされてる。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①表紙裏には「文字を書くって何だろう」というページがあり、字を書くことの意味や良さを感じられるようになっている。
- ②イラストやキャラクター、鮮明な写真が豊富に掲載され、興味・関心が深まるようになっている。また、動画資料が細かく作られており、個に応じて確認できる配慮がされている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「生活にひろげよう」では、年賀状等の教材をおき、日常生活の中で生かせるようになっている。また、職場体験等の行事で字を書く際の参考にできるように工夫されている。
- ②「文字といっしょに」では、島根県、鳥取県の和紙が紹介され伝統的な文字文化に興味・関心をもてるように工夫されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「身の周りの文字の豊かさに触れ、効果的に書く」では、生活の中にある文字の豊かさや手書き文字の良さ、文字の変遷を学習し、文字を書くという行為の価値を考えられるように工夫されている。
- ②各学年の最後のページに書写テストが設けられており、学習内容の確認や定着が図れるようになっている。

(6) その他

- ①小学校で学習した基本的な点画を復習するところでは、筆がキャラクター化され、筆の使い方が音で表現されており分かりやすくなっている。
- ②デジタルコンテンツは手本だけでなく項目立てで細かく作られており、主体的に取り組めるよう工夫されている。

(7) 総括

- ①中学校で初めて学習する行書の特徴的な4つの動きをパターン化して示してあり、学習のポイントがわかりやすくなっている。
- ②行書の特徴を、毛筆で練習し硬筆に戻り日常の書字に生かされるという学習過程によって学びが生きるように設計されており、特に優れている。

3 社会【地理的分野】（株式会社 帝国書院）

(1) 内容、程度、分量等

- ①「日本の諸地域」の各地方の始まりのページに地域全体を概観する地図が掲載されている。
- ②「世界の諸地域」、「日本の諸地域」とも、地図と連携した「写真で眺める」から始まっているなど、基礎的・基本的な内容が押さえられている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①地理的分野の学習の最初の段階で、地理的な見方・考え方が示されており、子どもの主体的な学びに繋がる構成となっている。
- ②単元のはじめに単元の問いが設定され、それが意識できるように見開きページにも記載されており、「節の振り返り2」では、単元ごとにまとめ方が工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①「地図帳活用」のコーナーにより、地図の読み取りに繋がる工夫がされている。
- ②「地理プラス」などのコラムによって、生徒の好奇心を高める工夫がされている。
- ③「アクティブ地理AL」では、4つのテーマで地域に見られる課題を考えさせる場面を想定し、生徒の社会参画意識の高揚に繋げる工夫がされている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「日本の領域とその特徴」として、北方領土、竹島、尖閣諸島がそれぞれの項目で記述されている。竹島については2つの島が写った写真と、位置を示す地図、「地理プラス」として、竹島と日本の関りが記述されている。
- ②出雲大社などの写真、島根県を訪れる観光客数の推移が掲載されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①もくじの後に、「教科書を活用した学び方」や、「考えを整理する方法」などがまとめて示されており、地理的分野の学習を進める指針となっている。
- ②表紙の裏にSDGsの17の目標が明示され、「未来に向けて」のページで示されることで、地理的分野の学習を通して意識できるようになっている。

(6) その他

- ①地図の色やコントラストの工夫により、見やすく鮮やかに地形の特色をつかむことができる。
- ②QRコンテンツでは、歴史的分野、公民的分野の教科書に加えて、地図帳の該当ページを閲覧できるようにになっている。

(7) 総括

- ①大きく見やすい、人々の暮らしがうかがえる写真が豊富に使用されている。写真と撮影場所を示す地図が関連付けられており、地図を活用する力の育成も意識されている。
- ②教科書全体を通して、持続可能な社会を考え続ける姿勢が貫かれており、特に優れている。

4 社会【歴史的分野】（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①見開き 2 ページで 1 時間の授業が構成され、写真や図表がバランスよく配置されている。また、本文の行間が広く読みやすい。
- ②「スキルアップ」のコーナーでは情報を読み取ったりまとめたりする技能が身につけられる構成になっている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①各章のはじめに探求課題として章の問い、各節で節の問いを提示し、学習の流れを分かりやすく示している。
- ②各章の導入で“小学校の社会で習った言葉”やその時代の人物が年表上に記載されており、時代の流れを捉えやすくなっている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①「もっと知りたい」では「解放令から水平社へ」では人権について「日本のエネルギーのこれまで」「震災の記憶を語り継ぐ」では今日的課題について興味・関心を持って取り組むことができるよう工夫されている。
- ②見開き 2 ページのタイトルにサブタイトルを設け、興味・関心を高めるように工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①コラム「現代に生きる神話」では出雲大社について、「島根と神話」では出雲神話、佐陀神能について紹介されている。
- ②「領土をめぐる問題の背景」では竹島について当時の写真や当時の地図を用いて島根県への編入の経緯や韓国による不法占拠について記載されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①小学校の学習や他教科との関連について記載され、教科横断的な取り組みができるようになっている。

(6) その他

- ①QRコードから授業、グループ学習、予習、復習に使えるコンテンツにアクセスすることができるようになっている。
- ②見開きページ右側の年表で今学習している時代が確認でき、巻末の年表とも対応している。

(7) 総括

- ①まとめの活動では、節ごとのまとめをし、章全体のまとめという流れになっている。
- ②地理的分野や公民的分野、他教科との連携を意識させる内容となっている。
- ③構成、分量、デジタルコンテンツ、他分野との関連など、総合的にみて、特に優れている。

5 社会【公民的分野】（株式会社 帝国書院）

(1) 内容、程度、分量等

- ①教科書の使い方、ノートづくり、メディアや思考ツールの活用の仕方などが具体的に説明され、学習のサポートがされている。
- ②最新の図表、写真などの資料が多く掲載され、用語や本文の解説が側注で解説されており、理解しやすいように工夫されている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①各章ともはじめに「章の問い」、「節の問い」を提示し、章や節を振り返りながら、思考ツールなどを使って、学習のまとめを行うようになっている。
- ②見開きページは、「学習課題」・「確認」・「説明」の三段階で表現され、ワークシートやシミュレーションなど学習の定着が図れる構成になっている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①各部の導入では、「学習の前に」という学習内容に関するイラストが掲載され、具体的にイメージしながら思考できるようになっている。
- ②各章の最初にある「アクティブ公民」や「未来に向けて」は、思考ツールや声が記載してあり、生徒が個人、グループで考えやすい内容を取りあげ、学習課題を明確にする工夫がされている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①竹島問題について、「日本固有の領土」「不法に占拠」「国際司法裁判所に委ねる提案」と本文に記載され、解説も掲載されている。
- ②「18歳への準備」や「未来に向けて」では、具体事例から持続可能な社会の実現に向け、主権者として現代社会を生き抜くための公民的資質について、考えられる設定がなされている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「アクティブ公民AL」でパフォーマンス課題が設定されており、議論しながら、合意形成を促す内容になっている。
- ②各章末に探求学習への準備として「持続可能な社会」について、学習課題を考えながら、第5部の課題探求学習を行いながら、自分の生き方などを考える構成になっている。

(6) その他

- ①導入部で他分野(地理、歴史)や小学校との関連が示してあり、既習事項の確認や多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。
- ②二次元コードによって学習に役立つ多様なコンテンツと繋がり、シミュレーションが行えたりするよう工夫されている。

(7) 総括

- ①各部に設けられたイラストを、導入や学習途中、学習後にふり返ることで、単元の学習が深まるよう工夫されている。
- ②本文にある最新の具体事例や単元を通して多様なコンテンツが用意されているなど、個に応じた学習が深まるよう工夫されており、総合的に見て、特に優れている。

6 地図（株式会社 帝国書院）

(1) 内容、程度、分量等

- ①A版で大きく見やすい文字・地図になっている。198ページあるが軽量化されている。
- ②「この地図帳の使い方(1)」では、小学校で学習したことを振り返ったり、地図の種類を確認したりするなど、地図帳の使い方がわかりやすく説明されている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①巻末の統計資料が充実しており、調べ学習を行う時、活用しやすいよう工夫されている。
- ②「持続可能な社会を考える統計」として、SDGsのゴールが示されており、関連するページへのSDGsのマークの表示とともに、全体を通して持続可能な社会の実現が意識されるよう工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①「地図で発見！」のコーナーでは、156問の問いが設定してあり、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。
- ②「〇〇をながめてみよう」では、鳥観図に建物や人物などのイラストが描かれており、地形だけでなく、生活や文化などの特色を読み取れるような工夫がなされている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①中国地方の一般図では竹島の拡大図があり、日本列島を示した地図の周りに竹島の写真が載せてあるなど、領土問題に関する内容が充実している。
- ②「瀬戸内海周辺の歴史」をあらわした主題図があり、奈良時代から江戸時代の西回り航路あたりまでイラストなどで示されており、歴史的分野の学習と関連付けることができるようになっている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①自然災害について4ページにわたって書かれており、地震や大雨による洪水だけでなく、火山や台風などについても資料が載せてある。特に地震については、プレートの境界と主な地震の震央が掲載されている。
- ②SDGsについて巻頭特集や主題図で関連した図が載せられており、関心を高める工夫がなされている。

(6) その他

- ①「広島市付近にある水害の碑の分布」「宮古市(田老)の津波への備え」など、防災について意識を高める工夫がされている。

(7) 総括

- ①巻頭において地図帳の使い方が明確に示されていることで、授業や、自主学習にも活用できるよう工夫されている。
- ②視覚的に明るく見やすい色づかいであり、地図中に記載された文字も大きいことから、長時間の使用にも集中して取り組むことができるよう工夫されており、特に優れている。

7 数学（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①巻頭ではこの本の使い方や大切にしたい数学の学び方が示しており、生徒が見通しをもって学習するためのポイントが丁寧に記載されている。
- ②デジタルコンテンツや「学びのベース」、補充の問題では、一人ひとりの学習状況に応じて取り組めるよう工夫されている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①ストーリー性のある題材構成で、生徒の学ぶ意欲を高め、導入の題材を本文の中で解決したり、さらに深めたりできるよう工夫されている。
- ②1年0章「算数から数学へ」で自然数を扱ったあとで数の世界を広げていくよう、学習内容の配列が工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①「深い学びのページ」では、日常生活や社会の事象に関わる問題と学習内容を関連付けた問題が設けられており、知識・技能を活用しながら、問題解決の進め方を意識できるよう工夫されている。
- ②導入やとびらでは、全国各地の写真を取り上げ、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「学びをふり返ろう」や「章のふり返りレポート」では、身の回りの事象との関連を考えたり、学習内容をふり返ったりできるよう工夫されている。
- ②「数学の目でふり返ろう」では、考え方の共通点が感じられるよう工夫されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①各学年でSDGsに関連する問題が取り上げられており、単元全体を通して問題を解決できるよう工夫されている。
- ②章や節の導入で、これからの学習内容と日常生活に関連する問題を取り上げ、この後の章や節の学習内容に興味をもたせるよう工夫されている。

(6) その他

- ①幅広い題材を扱い、様々な教育課題に課題意識をもてるよう配慮されている。
- ②「マイ教科書・マップ」ではデジタル紙面を使って、47都道府県それぞれの題材を探せるよう配慮されている。

(7) 総括

- ①類似問題や既習内容のふり返りが豊富で、個に応じた学びができるよう工夫されている。
- ②各ページにデジタルコンテンツが豊富に用意されており、生徒の主体的な学びにつながるよう工夫されている点が、特に優れている。

8 理科（株式会社 新興出版社啓林館）

(1) 内容、程度、分量等

- ①分量は、1年 100 時間、2年 123 時間、3年 128 時間、発展的な学習内容の記述は、1年 5.75 頁分、2年 8.0 頁分、3年 15.50 頁分となっている。
- ②生徒の観察・実験を中心に構成されており、時数的にも余裕をもって課題解決的な学習を行うのに適している。

(2) 題材の選択や構成等

- ①「探Q実験」「探Q実習」では、他者の意見を参考にしながら自分の仮説を設定し、より主体的に探究的な学習が行えるように工夫されている。
- ②単元の初めの「学ぶ前にトライ!」、学習後の「学んだ後にリトライ!」により、生徒が自己評価を行うことで学習の深まりを実感できるよう工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①章の導入では、ダイナミックな誌面とともに、二次元コード「はてなスイッチ」があり、動画によって生徒の疑問が引き出されるような工夫がされている。
- ②科学コラムには、身近な生活に関連した話題や日本の伝統文化、国際的な話題などが紹介しており、理科の有用性、理科を活かした職業等に興味・関心を高められるよう工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①二次元コードにリンクした「Review-ふり返ろう」「学習のまとめ」により、既習事項や学習内容が確認できるようになっている。また、単元末の「力だめし」で学習内容の定着度が図られるようになっている。
- ②「深めるラボ」で石州瓦が取り上げられ、原料が大田市で採掘されている写真が掲載されており、地域の資源に興味をもてるよう工夫されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「算数・数学と関連」コーナーや、国語や社会、技術科などとも関連づけられており、学びが深まるよう工夫されている。
- ②部活動と関連する「部活ラボ」、キャリア教育につながる「お仕事ラボ」、食生活と関連する「お料理ラボ」などにより、理科を学ぶ意義や有用性、キャリア教育や日常生活との関連に気付けるような工夫がされている。

(6) その他

- ①巻末にある「探Qシート」に書き込むことで、探究の流れをつかんだり、話し合いを通して表現する力が身についたりするよう工夫されている。
- ②二次元コードにリンクした問題や解説動画など、生徒1人1人の実態に合った家庭学習ができるよう工夫されている。

(7) 総括

- ①各所に二次元コードが掲載され、1人1台端末を効果的に活用できるよう工夫されている。
- ②「探Qシート」を活用した探究的な学習を通して、理科への興味が引き出されたり、基礎的・基本的な学力が身につく工夫がされるなど、特に優れている。

9 音楽（株式会社 教育芸術社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①「学びのコンパス」では、活動の流れや楽曲を理解するためのヒントが書かれており、二次元コードを使って音と関わらせながら学習活動ができるように工夫されている。（一般）
- ②各楽器の学習では、平易な曲から難しい曲に教材配列がされ、生徒が取り組みやすい構成になっている。（器楽）
- ③「アンサンブル」や「楽器でマイメロディー」では、身に着けた技能をもとにさまざまな曲が掲載され、楽曲の特徴を感受し、表現できるように工夫されている。（器楽）

(2) 題材の選択や構成等

- ①学年ごとに学習内容や各学年の目標、教材名が示されており、生徒が見通しをもって主体的に学習することができるように配慮されている。（一般）
- ②歌唱、創作、鑑賞の3分野の教材が適切に配置され、学習目標、音楽を形つくっている要素など学習内容が一目でわかるように工夫されている。（一般）
- ③「学びのコンパス」では、身につけたい技能について友達と話しあったり、実際に音を出し確かめあったりして共同的な学びができるように工夫されている。（器楽）

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①巻頭に音楽家やさまざまな分野で活躍する人たちのコメントを掲載することで、生徒の音楽への興味・関心を高めるための工夫がされている。（一般）
- ②創作の学習では、創作ツールを使い、自分でつくったものを聴いたり、伴奏をつけたりして創意工夫して学習できるように配慮されている。（一般）
- ③デジタルコンテンツや写真が多く使われており、生徒が主体的に学習し、楽曲への理解を深めることができるように工夫されている。（器楽）

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①郷土の祭りや芸能として、日本全国の伝統芸能や祭りの写真が掲載され、地域の音楽文化に親しみをもてるように工夫されている。（一般）
- ②「歌い継ごう日本の歌」や「心通う合唱」には、生徒の興味・関心をひき、各学年に応じた音域の合唱曲が多数掲載されている。（一般）
- ③「アンサンブル」では、鑑賞教材の「春」「ブルタバ」や歌唱教材の「エーデルワイス」が取りあげられ、合奏することで楽曲の理解を深め、表現を楽しむための工夫がされている。（一般）
- ④和楽器とさまざまなジャンルの音楽が紹介され、我が国の伝統音楽への理解を深める工夫がされている。（器楽）

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「生活や社会の中の音や音楽」では、音や音楽の果たす役割や仕事と音楽として、SDGsの取組などが紹介され、総合的な学習の時間との関連を図ることが工夫されている。（一般）
- ②「ポピュラー音楽のジャンル」では、国内外のさまざまなジャンルの曲を紹介し、生徒たちが音楽文化に生涯親しめる工夫がされている。（一般）
- ③アンサンブルでは、さまざまな楽器を組み合わせたり、手拍子などのボディーパーカッションを取り入れたりすることで、生活の中にある音や音楽への関心をもつことを促す工夫がされている。（器楽）

(6) その他

- ①歌唱教材のカラピアノ、パート別音源や「レッツクリエイト」の作例などのデジタルコンテンツが充実しており、個別最適な学びをするための工夫がされている。(一般)
- ②和楽器の学習では、その楽器の演奏家からのメッセージや姿勢や構え方など、我が国の伝統文化や習慣などを理解することができるように工夫されている。(器楽)

(7) 総括

- ①デジタルコンテンツが充実し、学年の発達段階に応じた教材や実践例が取り挙げられている。また、内容が精選されシンプルでわかりやすく学年ごとの「音楽の学びを振り返ろう」で1年間の学びを振り返られるところが、特に優れている。(一般)
- ②器楽の学習内容や音楽科で身につけたい資質や能力と音楽を形づくっている要素との関連が示されている。(器楽)
- ③比較的平易な楽曲から難しい楽曲に教材配列され、シンプルでわかりやくまとめられているので、段階的に資質・能力を高められている点が、特に優れている。(器楽)

10 美術（日本文教出版 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ① 3つの分冊により、1年は「美術との出会い」、2・3年上は「学びの実感と深まり」、2・3年下は「学びの探求と未来」と題し、系統的に学習できるよう工夫されている。
- ② 「表現のヒント」として、発想・構想や作品制作の参考となる言葉の投げかけや二次元コードの情報などが示されている。

(2) 題材の選択や構成等

- ① 「住み続けられる町づくり」は、建物やスペースのデザインにとどまらず、SDGsを意識する町のデザインを題材に取り上げている。
- ② 「絵巻物の世界」では、生徒が身近に感じにくい絵巻物を、現代の漫画やアニメと関連付けることで、題材として取り扱えられるよう工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ① 表紙と裏表紙の全体で一つの作品を掲載することで、より鮮明に作品を見ることができ、また各学年のテーマに基づいた作品を表紙に選択し、生徒が興味をもてるよう工夫されている。
- 「屏風、美のしかけ」では、屏風の作品を実際に折り曲げて机の上に置き、実際の屏風と同じような状態で鑑賞できるよう工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ① 「造形的な視点」として、造形的な見方・考え方が働き、その題材における造形的な視点が明確に意識できるよう工夫されている。
- ② 「どこまで修復すべきか」では、美術作品を後世にいかに残すのかという問いかけをすることで、美術文化の継承の意義、未来に伝えるべき美術文化のありようについて考えられるよう工夫されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ① 芸術家以外の有名人と美術とのかかわりを示すことで、美術は誰にでも生活に役立つ学びとなるよう工夫されている。
- ② カリキュラム・マネジメントの視点で題材と道徳の価値項目との関連について目標が明記され、美術の授業を通して道徳性が養われるよう配慮されている。

(6) その他

- ① 「短時間でつくる」として、短時間でできる題材で体験的な活動ができるよう工夫されている。
- ② 1人1台端末を利用できる活動に「ICT」のマークがあり、日常的なICTの活用につながるよう工夫されている。

(7) 総括

- ① 作品を拡大した表紙や、折り曲げて鑑賞できる屏風作品などにより、興味・関心をもって学習できる点が、特に優れている。
- ② 各題材の「鑑賞の入り口」「表現のヒント」「造形的な視点」により、題材のねらいに迫る構成となり、学習のポイントを理解して活動できるよう工夫されている点が、特に優れている。

1 1 保健体育（株式会社 G a k k e n）

(1) 内容、程度、分量等

- ①学ぶ内容が簡潔にまとめられており、それに関連資料が見やすい位置に記載されるなど、生徒の学びを深めやすい工夫がされている。
- ②各章のはじめには学びたいことや学んだことを表現するスペースがあり、授業内インプットするだけでなく、アウトプットすることによって生徒が内容を整理できるよう工夫されている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①「ウォームアップ」により、学習内容に入る前に身近なところから課題を見つけることができ、その解決のために学ぶ手立てが分かりやすく提示してある。
- ②「学びを生かす」では、習得した知識をどのように実生活に生かしていくかが提示してあり、学びが継続できるよう工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①イラストが多く、吹き出しをつけて柔らかい表現で投げかける問いが多く、生徒の興味を引く工夫がなされている。
- ②「情報サプリ」では、学習内容をさらに深めることができるような豆知識が記載されており、生徒が関心を持つように工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「エクササイズ」では得た知識で課題の解決に向けて振り返りや話し合い活動を行うことにより、より探究的な学習が進められるよう配慮されている。
- ②カラーユニバーサルデザインに配慮して製作されており、イラストの色合いや字体も見やすいものとなっている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「学びを生かす」では学習内容を実生活にどのように生かしていくのかヒントとなるよう工夫がされている。
- ②各章最後の「探究しよう」では、学習内容に関連づけたものが提示してあり、生徒が理解を深められるよう工夫されている。

(6) その他

- ①各章にデジタルコンテンツが用意してあり、ワークシートが活用できるなど、理解を深められるよう工夫されている。
- ②「協働」マークを設け、深めたい内容やテーマをグループで協働的な学びができるよう工夫されている。

(7) 総括

- ①リンクには関連した内容が示されており、更に学習が深められるような工夫がされている。
- ②見出しごとに焦点化した問いかけを行い、学びの視点を明確にする工夫がなされており、特に優れている。

1 2 技術・家庭【技術分野】（東京書籍 株式会社）

- (1) 内容、程度、分量等
 - ①どの章も「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の3要素でまとめられており、学習を系統的に進めることができる。
 - ②「技術のガイダンス」では、これから取り組む問題解決の「問題の発見、課題の設定」の際に検討すべき内容が分かりやすくまとめられている。
- (2) 題材の選択や構成等
 - ①豊富な問題解決例を取り上げるとともに、さらに工夫して取り組める例を「もっと問題解決」として紹介し、工夫・創造することの大切さが示されている。
 - ②各編の終末に「学習のまとめ」を見開きで設け、身についた資質・能力を観点別にイラストや写真も用いた問題により確認することができるようになっている。
- (3) 興味・関心を高める工夫
 - ①各編の導入で身の回りの製品や社会における技術を取り上げたイラストを提示し、これから取り組む問題解決の「問題の発見、課題の設定」の際に検討すべき内容が分かりやすくまとめられている。
 - ②各ページの下段に「技術の工夫」を設け、学習意欲を高めるよう工夫されている。
- (4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等
 - ①問題解決の例が、内容が進むにつれて視野の広い問題設定ができるように例示がしてあり、問題解決の見通しをもって取り組めるように工夫がしてある。
 - ②「安全」「衛生」について、マークを付けて生徒の注意喚起をしやすくしたり、安全な環境・行動・作業における注意事項をわかりやすく記述してある。
- (5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫
 - ①技術が人間の夢をかなえるために発達してきたことを、豊富な写真資料を用いて技術の歴史とともに解説してある。
 - ②「学んだことを社会に生かす」では、技術の開発者の思いなどとともに、その技術の未来像についても紹介されている。
- (6) その他
 - ①「技術の匠」では、製品の開発者や技術者など、技術分野の学習に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージを紹介し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるように工夫されている。
 - ②カラーバリアフリーの観点から配色とデザインが工夫され、見やすくなっている。
- (7) 総括
 - ①ガイダンスから各編で実社会をイメージしたイラストが使用され、技術分野の学習の見通しとそれぞれの技術のつながりが意識できるよう工夫されている。
 - ②教師や生徒が閲覧できる短い動画コンテンツが充実しており、生徒が自主的に教科書と照らし合わせて学習に取り組める点において、特に優れている。

1 3 技術・家庭【家庭分野】（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①内容A「家族・家庭生活」の一部、B「衣食住の生活」、C「消費生活」、A「家族・家庭生活」の順で構成されている。
- ②二次元コードで小学校家庭科の教科書が確認でき、小学校で学習した内容と関連づけられるよう工夫されている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①「日常食の調理」では、中学生にとって身近で実態に合った教材が多く紹介されている。
- ②各節に学習課題に導く「始めの活動」が設定されており、主体的に取り組める工夫がされている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①見開きごとに二次元コードでデジタルコンテンツにアクセスできるようになっており、視覚的に理解しやすく配慮されている。
- ②動画やシミュレーションによって興味関心のある内容を調べたり、ワークシートで自分の考えをまとめたりすることができ、協働的な学びにもつながるよう工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「地域の食材」「日本各地の郷土料理」では、しじみとシジミ汁、「日本各地の住まい例」では、築地松が掲載されており地域性がある。
- ②「災害への対策」の導入では、自分の住む地域の災害について考える工夫がされている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「生活の課題と実践」では、成果物や発表例、実践例が示されており、生徒が課題の設定や実践の進め方をイメージしやすい工夫がされている。
- ②巻末に「学んだことを社会に生かす」を設け、働く人たちを学習別ごとに取り上げ、社会とのつながりを感じることができるよう工夫されている。

(6) その他

- ①献立作成の学習で、献立バランス計算ソフトがあるなど効率化させるサポート資料が豊富であり、教員の授業準備の負担軽減になる。
- ②デジタルコンテンツの資料が多く、操作性が良い。

(7) 総括

- ①3年間の指導計画が、生徒の発達段階に応じて立てやすく配慮されている。
- ②写真や実習例、実践例が多く、生徒の興味関心を高め主体的に学べるような工夫が随所に見られる。
- ③基礎・基本的な学習からQRコンテンツを活用した発展的な学習など学びを深めることができ、特に優れている。

1 4 英語（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①Let's Read や1年生のUnit5以降のRead and Think など説明文や物語文など目的に応じて読み取り方を工夫できるような内容になっている。
- ②学年があがるごとに題材が個人のことから社会的な事柄へと変化しており、発達段階に応じた学習内容になっている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①見通しをもって学習に取り組めるように、Unit の初めに GOAL が明確に示され、学んだ内容を生かして4技能を統合的に活用しながら取り組める Unit Activity が設定されている。
- ②1年Unit4までは小学校との接続を意識しコミュニケーション活動が取り入れられるように工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①表紙裏に掲載されているデジタルマップを用いて世界や日本の情報を得ることができ、Unit の学習への活用だけでなく、生徒が自ら関心のある地域の情報を英語で読み学習することができる。
- ②デジタルコンテンツが充実しており、発音だけでなく文法の解説動画やクイズなどにも取り組めるように工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①巻頭の学習の見通しや巻末の CAN-DO リストなどに身につけたい力が示されており、生徒が自らを振り返りながら学習が進められるように工夫されている。
- ②巻頭の学び方コーナーやGrammar for Communication では、学習の仕方やポイントが簡潔にまとめられており、生徒の学習支援につながっている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①Learning ~ in English のページでは、国語や理科、社会、技術家庭科、美術など幅広く教科横断的な学びができるように工夫されている。
- ②防災や安全、SDGs や多様性に関する題材を幅広く取り上げ、生徒が日常的にそれらのテーマについて意識できるよう工夫されている。

(6) その他

- ①巻末資料として語順カードやWord Room、Small Talk など学年に応じたコンテンツが収録されている。
- ②現行の教科書に比べて内容のスリム化が図られており、単元の内容が精選されている。そのことにより、その他の活動に時間を充てることができる。

(7) 総括

- ①小学校で学んだ単語が掲載されていたり、コミュニケーション活動を取り入れられるようにしてあるなど、小学校との接続を意識した工夫がされている。
- ②各単元のゴールが明確に示されており、学習した内容を用いてまとめの活動ができるように構成されている点が特に優れている。
- ③取り上げられている題材にSDGs や多様性など国際社会における重要な課題との関連がある点が特に優れている。

1 5 特別の教科 道徳（日本文教出版 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①35時間分の教材が用意されており、学校の年間行事や、生徒の発達の段階を踏まえて、教材・コラムがバランスよく配列されている。
- ②巻頭の「道徳科での学びを深めよう！」では、道徳科を学ぶ意義や、学習内容、学び方が掲載されている。特に「ミニ教材で考えてみよう」では、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。

(2) 題材の選択や構成等

- ①全学年で、「よりよい社会を考える」、「いじめと向き合う」がユニット化されている。また、2つのユニットは、年間を通して、複数の教材から多面的・多角的に考えられるよう構成されている。
- ②学びを深めるために、様々な方法が提示され、対話的・協同的な学びができるよう構成されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①実在の人物を扱った教材が多く、生徒に向けた「あすへのメッセージ」は、生徒が共感し、考えを深めることができるようになっている。
- ②「島根県出身の井手上漠さんを題材にした「カラフルな世界で」を取りあげ、個性を尊重することの大切さについて考えられるよう工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①生徒にとって身近な制服の在り方を題材にし、主体的に考えを深めることができるようになっている。
- ②全学年に情報モラルに関わる教材、コラムが掲載され、発達段階に応じて多様な教材から学習できるよう工夫されている。

(5) 各教科における道徳教育との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①巻末には、「内容項目別教材一覧」が示されており、教材と他教科等との関連や、いじめなどの「テーマ」との関連が視覚的にわかるようになっている。
- ②コラム「視野を広げて」が各学年に7つずつ配置されており、生徒の実生活に即した内容を扱い、学びが広がるよう工夫されている。

(6) その他

- ①別冊「道徳ノート」は発問を記入する欄や自由記述欄が設けられ、指導者の授業展開によって柔軟に活用できるよう工夫されている。学期ごとの振り返りもできるようになっており、年間を通して生徒の成長の過程を把握することができるようになっている。

(7) 総括

- ①各教材末の「考えてみよう」には、ねらいに迫る問いが示され、さらに「自分に+1」の問いを用いて、自分事として考えられるよう工夫されており、特に優れている。
- ②別冊「道徳ノート」は、教科書に対応しており、発問や自分の考え、振り返りを記述し、学びできる点が、特に優れている。

Ⅳ 令和7年度～令和10年度使用 中学校教科用図書見本送付一覧

種目		発行者	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	計
			東京書籍(株)	大日本図書(株)	教育図書(株)	開隆堂出版(株)	学校図書(株)	(株)三省堂	教育出版(株)	(株)教育芸術社	光村図書出版(株)	(株)帝国書院	(株)大修館書店	(株)新興出版社啓林館	(株)山川出版社	教研出版(株)	日本文教出版(株)	(株)Gakken	(株)自由社	(株)育鵬社	(株)学び舎	あかつき教育図書(株)	日本教科書(株)	令和書籍(株)	
			2東書	4大日本	6教図	9開隆堂	11学図	15三省堂	17教出	27教芸	38光村	46帝国	50大修館	61啓林館	81山川	104教研	116日文	224学研	225自由社	227育鵬社	229学び舎	232あか図	233日科	236令書	
国語	国語		○					○	○		○														4
	書写		○					○	○		○														4
社会	地理		○						○			○					○								4
	歴史		○						○			○			○		○		○	○	●			○	9
	公民		○						○			○					○		○	○					6
	地図		○									○													2
数学	数学		○	○			○		○					○		○	○								7
理科	理科		○	○			○		○				○												5
音楽	音楽(一般)								○	○															2
	音楽(器楽合奏)								○	○															2
美術	美術					○					○						○								3
保健体育	保健体育		○	○									○					○							4
技術・家庭	技術		○		○	○																			3
	家庭		○		○	○																			3
外国語	英語		○			○		○	○		○			○											6
特別の教科道徳	道徳		○						○		○						○	○				○	○		7
計			13	3	2	4	2	3	11	2	5	4	1	3	1	1	6	2	2	2	1	1	1	1	71

○送付のあったもの

●送付のなかったもの

V 出雲採択地区教科用図書採択協議会委員名簿

市町名	委員氏名	備 考
出雲市	大畑 和也	出雲市PTA連合会 副会長
出雲市	杉谷 学	出雲市教育委員会 教育長
雲南市	三島 章祥	雲南市PTA連合会 会長
雲南市	小田川徹哉	雲南市教育委員会 教育長
奥出雲町	白根 俊彦	奥出雲町PTA連合会 会長
奥出雲町	川本 健二	奥出雲町教育委員会 教育長
飯南町	森山 篤	飯南町PTA連合会 会長
飯南町	大谷 哲也	飯南町教育委員会 教育長

VI 採択協議会開催状況

採択協議会	開催日	会場	協議内容等
第 1 回	令和6年5月17日	出雲市役所 会議室	・ 会長、職務代理者の選出 ・ 採択日程（案）の承認 ・ 令和6年度予算（案）の承認 ・ 令和7年度から中学校において使用する教科用図書の採択にあたっての「採択の観点」の検討
第 2 回	平成6年7月18日	出雲市役所 会議室	・ 令和7年度から中学校において使用する教科用図書の選定（1回目）
第 3 回	平成6年8月6日	出雲市役所 会議室	・ 令和7年度から中学校において使用する教科用図書の選定（2回目）